

今期の史談会

会長 二宮修二

昨年から今年にかけて、コロナウイルスの感染症が蔓延し世界全体に大きな影響を与えたことは皆さんご存じの通りである。この頃では「社会状況」と言えば、コロナ感染状況と同等に使用されるほどになった。第一波から現在令和四年三月では第六波に入っている。挟間史談会もその影響から、例会を休んだことや、皆さんが楽しみにしていた研修見学も休まざるを得なくなった。社会状況がよくなれば、若葉の香る自然の中で充実した研修をしたと思っっている。

苦しい閉塞的な状況の中で、会員の熱心な関心と研修意欲によって、毎回本当に充実した研修ができたと感じている。提出された報告書は次のような内容であったと思います。

- ・「古野後藤家文書の再考」〔田地売渡證文〕
- ・「江戸時代の貨幣価値・金・銀・銅の交換価値、当時の物価と現在の貨幣換算した時の価値」
- ・「大分市田尻周辺の遺跡・道・川・寺等」
- ・「靈山寺・日枝神社・不動明王堂・大友頼恭墓・常樂寺・天祖神社」〔七瀬川自然公園〕
- ・「金光寺（旧名存重寺）文書の考察」
- ・「湯平清水家の殿様入湯準備文書」〔買渡し申す畑證文之更〕
- ・「江戸初期における質地の請け戻し慣行」
- ・「初瀬井路・古野井路」
- ・「武士の起こりと豊後安藤氏」
- ・「天保の飢饉」〔百合若大臣の伝承から〕
- ・「中世の山城についての興味」
- ・その他

多くの皆さんの研究報告書が提出されたことに、感心すると同時に日頃の関心度や研究姿勢に驚きます。このようなレポートを見たときに、いつも感じることは、此の人はどうしてこのような、研究課題に目を向けたのだろうか、何がきっかけで調べたのだろうかと感じます。そのようなきっかけをもう少し報告者が丁寧に話してくださいとあります。参考にしてほかの人もできるようにしたいと思います。

このような内容で日々研修をしておりますので、部外の方々も研修に対しご協力お願いいたします。又、入会希望の方は是非ご連絡ください。

最後になりましたが、この会のために参与会員となっただき、資金を提供してくださっている皆さんに厚く御礼を申し上げます。